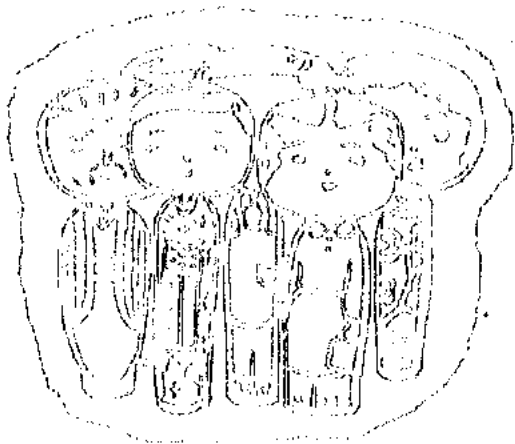


----- だから
わたしたちは
婦人団体をつくりました

婦人団体シリーズ No.1

(婦人団体の目的)



私たちが婦人団体をつくつたのは
こういうわけです



——と、

木村さん 佐藤さん 河村さん
井上さん 林さん が
話しています。

私たちは うるおいのある生活をするために
何かよいたのしみが ほしいとおもいました。

ひとりてたのしめることも いろいろありますが
氣のあつた人たちと ときどきあつまつて
話しあいや 遊戯をするのは
またかくべつの たのしみです。

氣分が はれやかになつて
明日の仕事に せいが出ます。



— だ から

私たちは団体をつくりました。

教養をたかめるために

教養をたかめるために

佐藤さんの言葉

私たちは もつと 教養の高い婦人に

なりたいと おもいました。



• 自分の生活を

ゆたかにするために

家庭をたのしくするために

社会を明るくするために

そして、

よい世論をつくるために

ひとりで

勉強することもあります

多勢あつまつて すれば —————

- 話しあい
- 研究会 討論会 座談会
- 講演会 見学

そういうことができるので

知識や判断力を
一そう
ふかめることが
できます。

また、

- 事務的な訓練や
- リーダーシップも



やしなえるでしょう。

———だから

私たちは団体をつくりました。

たのしみのために

生活をよくするために ……………河村さんの言葉

なにごとでも 多勢の人が

- 時 間
- ち え
- 技 術
- 物やお金



などを出しあつて 力をあわせれば

能率が上り

仕事がらくにできることに

私たちは 気がつきました。

主婦も 手わけをして 力をあわせれば —————



- 目をきめて 子供の世話を かわるがわるしたり
- 便利な道具を 共同で買つて使つたり
- 買出しをまとめたり
- 手のない時にたすけあつたり
- いらなくなつた衣類を交かんしたり

そういうことができて

生活が合理化されます。

——だから

私たちは団体をつくりました。

生活をよくするために

社会のためになることを するために

.....井上さんの言葉



私たちの生活は
社会と つよく
つながっていることを
私たちは 知りました。――

社会がよくなれば 私たちも幸福になります。

そして ひとりでは なかなか できませんが

多勢で力を合せば

社会をよくするための

いろいろな仕事ができます。

◦ 子供たちのために 遊び場や

託児所をつくつたり

◦ 学生に 奨学金を出したり

◦ 学校、図書館、公民館などを立派にしたり

◦ 蠅や 蚊や 鼠を 少くしたり

。道や 公園を きれいにしたり

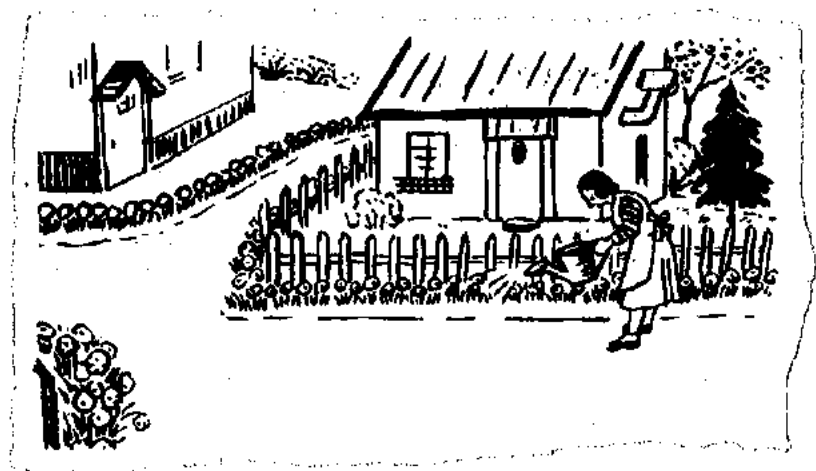
。困っている人のために

相談所をつくつたり

。みんなのやくにたつ

講演会や もよおしをしたり

資料をつくつて くばつたり



しかも このように

世の中のために 何かすることは
生きがいのある たのしいことです。

—— だから

私たちは団体をつくりました。

社会のためになることを するために

あたらしい日本では
政治をよくするのは
ひとりひとりの市民の
権利であり
責任であるとおもいます。



まず 有権者がみんな

よい選挙をすることが 大切ですが

そのために 私たちは

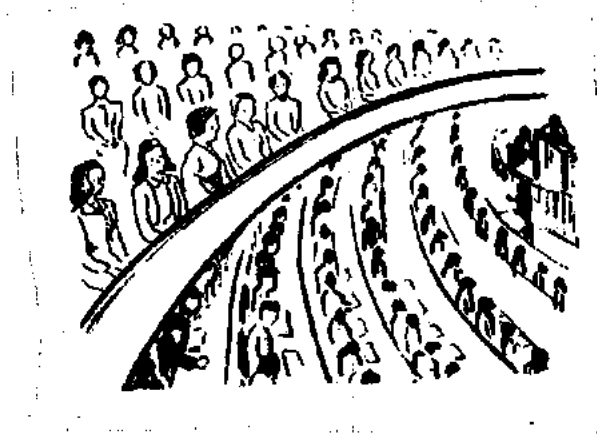
- 選挙の大切なことを みんなにおしえ
- 各政党の政策や 立候補者の経歴を
わかりやすく知らせ
- 選挙の日に サーヴィスレ——たとえば
子供のあずかり場を作つたりして

やくにたちたいと 考えました。

そればかりでなく

- 政府の政策に いつも氣をつけ
- 国会のはたらきや 予算の使い方をよくしらべ
- 地方議会に出る法案を よく研究して

政治の動きを見まもり



また必要な時は

- 当局に陳情したり
- 議会に請願したり
- 世論をよびおこしたりして

日本の政治を もつとよくするための
力になりたいと 思つたのです。

——— だ から

私たちは団体をつくりました。

もつとよい政治のために

ひとりではできないことを
多勢の協力で なしとげるために
氣の合つた人々に よびかけあつて
いろいろな團體を作しましょう。



1951年3月

東京都千代田区大手町一丁目
編集兼 労働省婦人少年局
発行人
東京都千代田区麹町五ノ二
印刷所 杉田屋印刷株式会社

このパンフレットの増刷、転載を希望される方は 労働省
婦人少年局、又は婦人少年局地方職員室に御連絡下さい。